

第2回 取手市部活動地域移行推進協議会

1



令和6年10月25日(金)
取手市役所藤代庁舎301会議室

第2回 取手市部活動地域移行推進協議会次第

2

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 報 告
 - 令和6年度 アンケート調査の結果について
 - 令和6年度 モデル事業の進捗状況について
- (4) 議 事
 - 地域クラブ活動の運営団体及び実施主体について
 - 地域クラブ活動の歳出と歳入について
- (5) 茨城県教育庁学校教育部保健体育課から
- (6) その他
 - 第3回 取手市部活動地域移行推進協議会
令和7年2月14日(金) 14:00～予定
- (8) 閉 会



部活動地域移行に関するアンケート調査について

3

○生徒アンケート調査の結果から

回答数：1,449 (+535) ※()は昨年度との比較

☆質問1「中学校部活動の地域移行について、考えをお聞かせください。」

①大いに進めた方がいいと思う	2.8% (-12.2%)	➡ ①+②+③=39.7% (-11.3%)
②進めた方がいいと思う	13.5% (-2.5%)	
③どちらかといえば進めた方がいいと思う	23.4% (+3.4%)	
④進めない方がいいと思う	11.0% (-1.0%)	
⑤わからない	49.3% (+12.3%)	

☆質問2「質問1で、①、②、③の方で、進めた方がいいと思う理由は何ですか。」

・専門的な指導がうけられるから	24.1% (-4.9%)
・希望する活動を続けられるから	23.6% (+1.6%)
・将来のスポーツや文化活動につながるから	15.9% (+3.9%)
・友達関係が学校外にも広がるから	26.0% (+1.0%)
・先生たちの働き方改革につながるから	10.0% (+1.0%)
・その他	0.4% (-1.6%)

1

☆質問3「質問1で、④の方で、進めない方がいいと思う理由は何ですか。」

4

・やりたいと思う地域クラブ活動がないから	10.6% (-5.4%)
・参加費など、お金がかかりそうだから	22.2% (+5.2%)
・移動や送迎などに時間がかかりそうだから	26.7% (+3.7%)
・自分の学校以外の指導者や生徒との人間関係が心配だから	22.4% (+0.4%)
・私立中学校や民間クラブと差がついてしまうから	13.9% (-0.1%)
・その他	4.2% (-3.8%)

☆質問4「部活動の地域移行について、期待することや、提案したいことがあったら書いてください。」

- ・部活動の種類が増えてほしい。
- ・休日の活動時間を増やしてほしい。
- ・活動した後の専門的指導を受けて、さらに個人一人一人が成長することができる環境ができることが期待。
- ・安全に活動できるようにそれぞれの部の設備を整える。
- ・友達との関わりを地域全体で広げて、学びを増やして欲しいです。
- ・中学校部活動の地域移行で、いろいろな人とかわりながら仲良くなれることができるようになってほしいです。
- ・地域移行することによって、顧問、副顧問だけでなく、専門知識のある人が加わることによって、専門的な技術が身に付く。

- ・生徒に負担がかからないようにしてほしい。
- ・参加できる部活動の輪が広がること。
- ・色々な人と色々な活動が出来るから、将来にも繋がると思う。
- ・格差が生まれることはしないでほしい。指導者も、公平に生徒をみてほしい。
- ・参加費などのお金を県や国から援助してもいいとおもう。
- ・吹奏楽部は取手公共吹奏楽団と練習したいです。

☆質問5 「部活動の地域移行について、不安なことや、心配なことがあったら書いてください。」

- ・自分の学校とクラブ活動をする場所の距離がある。他の学校の人との人間関係。
- ・部活はみんなが気軽に入れるけど、地域移行になると簡単には入れないのではと思います。
- ・送り迎え時間の確保が難しそう。お金がかかりそう。親の負担が増えたりするか。
- ・それぞれの学校によっては、取り組み方や取り組む姿勢が違うのではないか。
- ・部活時間が減ってしまったり、今までのような練習や練習試合がなくなってしまうたら不安。
- ・最初は喋りずらいですが、どんどんと喋れるようになってと思います。
- ・集まる回数が限られるから一つのチームとしてまとまりずらいところ
- ・学校の先生が担当するわけではないから、学校の生活や一人一人のことを理解できるのかなと思った。
- ・外部の人が行き過ぎた指導をしないか心配。(例) 平手打ち、パワハラなど

部活動地域移行に関するアンケート調査について

○保護者アンケート調査の結果から

回答数：725 (+131) ※()は昨年度との比較

☆質問1 「中学校部活動の地域移行について、考えをお聞かせください。」

①大いに進めた方がいいと思う	7.9% (-7.1%)	➡ ①+②+③=57.5% (-2.5%)
②進めた方がいいと思う	22.2% (-1.8%)	
③どちらかといえば進めた方がいいと思う	27.4% (+6.4%)	
④進めない方がいいと思う	10.9% (-6.1%)	
⑤わからない	31.6% (+8.6%)	

☆質問2 「質問1で、①、②、③の方で、進めた方がいいと思う理由は何ですか。」

・子供が、専門的な指導がうけられるから	23.1% (-5.9%)
・子供が、希望する活動を続けられるから	24.1% (+4.1%)
・子供の将来のスポーツや文化活動につながるから	7.3% (-1.7%)
・子供の友達関係が学校外にも広がるから	17.8% (+1.8%)
・先生たちの働き方改革になるから	27.1% (+2.1%)
・その他	0.6% (-0.4%)

☆質問3 「質問1で、④の方で、進めない方がいいと思う理由はなんですか。」

・子供が、やりたいと思う地域クラブ活動がない	7.0%	(+0.0%)
・参加費など、お金がかかりそう	25.3%	(-0.7%)
・移動や送迎などに時間がかかりそう	35.9%	(-1.1%)
・子供の、自分の学校以外の指導者や生徒との人間関係が心配	11.2%	(-1.8%)
・私立中学校や民間クラブと差がついてしまう	12.4%	(+0.4%)
・その他	8.2%	(+3.2%)

☆質問4 「部活動の地域移行について、期待することや、提案したいことがあったら書いてください。」

- ・減少傾向にある先生方の負担が少しでも軽減されることを望みます。
- ・地域移行する事により他校の生徒との交流や練習を共にする事でとても良い刺激を受ける事が期待出来ると思います。そして、先生方の仕事量や長時間勤務を軽減する事が可能になるのではないかと期待します。一方で地域移行する事により練習をする場所までの送迎が必要になる事が想像されますので、そのような場合は親や家庭の事情により参加をしたくても参加出来ない生徒が出てきてしまうのでは？という不安もあります。

☆質問4 「部活動の地域移行について、期待することや、提案したいことがあったら書いてください。」

- ・専門家による指導により子どもたちに色々な体験を経て、実力もつくと思う。また学校以外のつながりで友人関係も築けるので、社会に出るためのコミュニケーション能力も上がりそう。大会だけではなく、地元のお祭や催しなどで発表や交流会を体験することにより実力にも繋がるし地域の人(お年寄りなど)との交流もできて皆で子育てする環境を作るのにも良いと思う。
- ・地域移行を市で進めるのであれば、送迎を運用してでも子供たちの活動の為に一緒に移行した学校同士を練習をさせてスポーツの楽しさや素晴らしさを持たせてあげた方が良いと思う。子供の時の部活動やスポーツの経験は、親になった今でも本当に役に立っていると思います。また、子育てにも本当に大切な経験だったと思います。
- ・土日も含めて楽しくできれば良いと考える。
- ・休日の活動をさらに充実したものにできるように、地域移行に賛成します。今指導頂いている先生の熱意のある関わりも途絶えてしまうのは、子どもにとっても喪失感が大きいと思うので、先生自身に負担のバランスを考えて頂きながら、関わりも継続できたら、より良い活動になるのではないかと思います。
- ・子供が少なくなって、学校にいらっしゃる先生方の数も減り、部活や委員会の種類が減った現在、学校によっては、子供たちが挑戦したかったスポーツ(特に、団体競技)を部活動として選べるチャンスがないことが多いです。地域クラブとして部活のように、個人の負担を少なく、挑戦できる機会があるのは望ましいと思います。

☆質問5 「部活動の地域移行について、不安なことや、心配なことがあったら書いてください。」

9

- ・ 通い慣れた自分の通っている学校での活動でなく、練習場所までの送迎が必要になると、活動に参加しなくても参加出来ない子どもがでてくるのではと思います。チーム人数の確保や専門的指導が受けられるのは良いのですが、そもそも通えなければ続けたくても続けられない、学校での部活動の方が良いということになってしまうと思います。
- ・ 外部の指導者を決定する過程を知りたい。責任ある立場になると思うので、専門知識があれば誰でもいいという訳にはいかないだろうし、しっかり選んで休日の部活の活動内容がブラックボックス化しないようにしてほしい。何よりも生徒たちが不安なく地域移行に馴染めるようにしてほしい。
- ・ 送迎が必要になった時の対応ができない家庭も出てくるので、その場合、クラブチームではなく部活でいいからスポーツをやりたい、やらせたい家庭は無理になるような気がする。今後の運動能力低下になってしまう。
- ・ 土日に他の中学校に行かなくてはいけないとなると、親の送迎が必須となり、親が送迎できないとなると参加率が下がると思います。そして、体力やその競技の技術力も下がってってしまうのが不安です。
- ・ 先生の働き方改革など、問題はたくさんあると思いますが、家庭の事情で難しくなる事も出て来るのではないかと不安になります。子供たちが望むことは？ 子供たちのために一番良いことは？ など、子供たちに部活動をさせるために一番を考えてあげて欲しいと思います。

☆質問6 「保護者からの負担について、ご意見をご記入ください。」

10

- ・ より良い部活動のための負担なので、必要であると思います。(同様多数)
- ・ ある程度の負担は仕方がないと思うが、種目によって参加費に差が出すぎないようにしてもらいたい。
- ・ 家庭への負担が増えると、家庭によって格差がうまれてしまうので、保険については従来のやり方に捉われずもう少し柔軟に考える必要があると思う。やりたいスポーツを自由に選択できると謳っているが、やらなくてもいいならやらない子どもの方が多いと思うので、運動しない子どもが増えると思う。人気スポーツ、人気クラブは運営していけるかもしれないが、少人数のクラブは正直家庭の負担が大きくて大変そう。地域移行を進めるからには、それに伴う出費を考え家庭の負担が大きくならないように財源を確保する必要があるのではないかな。
- ・ 参加費をどのように使っていくのか、内訳は明確に提示してほしい。例えば外部講師に支払うのも、明確であってほしい。曖昧な内容でなければ、参加費支払いには納得できる。(同様多数)
参加費が発生するならば、休日の部活参加は強制になるのか選択の余地はあるのか気になる。不参加になることで不和になる事も避けたい。
- ・ クラブチームに所属していれば、月謝も含めてもっとたくさんの費用がかかるので、それに比べたらそこまで負担はないかと思いますが、それはその分支払える余裕がある家庭だから続けられる事であって、今までかからなかった費用がかかる事により、その部活動を出来なくなる子もいるかと思いました。
- ・ 個人で入るスポーツクラブや習い事より、わずかでも公費で負担して、より多くの子供が学校活動(学生生活)の延長として参加できるように配慮してほしいと思います。現場では、学校の部活では、学べない競技や、文化活動に参加している生徒は、学校に収めている教育費の他に自費でレッスンを受けているので、悪く言うと、二重取りされている形ですが、そこが是正されるのは良いことではないかと思っています。

○教職員アンケート調査の結果から

回答数：58（-13） ※()は昨年度との比較

☆質問1 「中学校部活動の地域移行について、考えをお聞かせください。」

①大いに進めた方がいいと思う	60.4% (+14.4%)	➡ ①+②+③=84.5% (-3.5%)
②進めた方がいいと思う	15.5% (-13.5%)	
③どちらかといえば進めた方がいいと思う	8.6% (-4.4%)	
④進めない方がいいと思う	3.4% (-4.6%)	
⑤わからない	12.1% (+8.1%)	

☆質問2 「質問1で、①、②、③の方で、進めた方がいいと思う理由はなんですか。」

・生徒が、専門的な指導がうけられるから	27.4% (-5.6%)
・生徒が、希望する活動を続けられるから	19.4% (+1.4%)
・生徒の将来のスポーツや文化活動につながるから	13.7% (+1.7%)
・生徒の友達関係が学校外にも広がるから	4.8% (-3.2%)
・先生たちの働き方改革になるから	34.7% (-6.7%)
・その他	0.0% (-1.0%)

☆質問3 「質問1で、④の方で、進めない方がいいと思う理由はなんですか。」

・生徒が、やりたいと思う地域クラブ活動がないから	50.0%
・参加費など、保護者の負担が増えそうだから	50.0%
・生徒の移動や保護者の送迎などに時間がかかりそうだから	0%
・生徒の、自分の学校以外の指導者や生徒との人間関係が心配だから	0%
・私立中学校や民間クラブと差がついてしまうから	0%
・その他	0%

☆質問4 「部活動の地域移行について、期待することや、提案したいことがあったら書いてください。」

- ・教員の中には、普段の学習指導や人間教育に情熱をもっている人もいれば、部活動を通して人間性を育てることや生徒の技術を磨くことに情熱をもっている人もいます。働き方改革と、部活動の地域移行は、同じものではなく、それぞれの問題だと思えます。部活動については、その指導に夢や情熱をもっている教員が失望するのは何とか避けられないものかと考えます。もしも、部活動指導を続けたい人がいれば、教員としての報酬と、地域移行となったクラブ活動指導者としての報酬と、ダブルで収入がある形にして、意欲のある方には引き続き指導をしていただければ良いと思います。
- ・部活動指導をしたくない教員は、土日に部活動に時間を割かれることのないよう、完全なる地域移行にし、土日も地域の指導者のみで活動できるよう、また、大会時に監督としてベンチに入るのも、地域の指導者というように、全く学校の運営から切り離せば良いのではないかと思います。
- ・運動部、文化部とも全て地域移行してほしい。平日も地域移行してほしい。

☆質問5 「部活動の地域移行について、不安なことや、心配なことがあったら書いてください。」

- ・地域移行が進まない理由に①地域の指導者不足や施設開放の体制②現行の部活動との関わり③保護者の理解などがあげられます。平日の部活動も地域移行を進めるべきで考えて行かないと、土日だけの移行では、上手くできないのではないかと思います。平日からの地域移行を進めてください。
- ・活動費がいくらぐらいになるのか。活動費を払うのが困難で参加できない生徒が出ないか。
- ・今はできませんが、部活を含め小・中学生の居場所としての何かの活動等の指導というか場作り等を、条件によってはやってみたいと思います。
- ・生徒の安全、学校をまたいだ生徒指導
- ・指導者が見つからず、結局学校の先生がやることになってしまうこと。全てがクラブで活動するわけではなく、平日は部活、休日はクラブとしての活動になったときに、指導が統一されない可能性や生徒指導的な問題の発生、平日の教員の勤務時間の問題が解消されないこと。
- ・守谷市で実施している地域移行を見ると、指導者が子供への対応で苦勞していました。また、移行していくためには、試行期間がその前に必要なので早めに実施して、出てきた問題点を解決していくところが大変だと思う。

☆質問6 「部活動の地域移行にあたり、部活動指導員として、休日に指導することを希望しますか。」

①希望したい	10.3% (-1.7%)
②条件によって希望したい	13.8% (-1.2%)
③希望はしない	63.8% (+21.8%)
④わからない	12.1% (-8.9%)

➡ ①、②の教職員が24.1% (-12.9%)

☆部活動指導員を「希望する」、「条件によっては希望する」と答えられた方で、希望する理由は何ですか。

- ・平日の活動との繋がりを考えたい。
- ・特技を活かしたい。
- ・今、頑張っている子を応援したいと思うから。
- ・地域の青少年のお役に立てばと思うから。
- ・今後も部活（バスケ）を教えたいです。
- ・部活動指導が負担ではないこと、自分がやってきた競技の指導に関われるから。

☆地域クラブ活動指導員を「希望しない」と答えられた方で、希望しない理由は何ですか。

- ・専門的な指導ができないことと、時間的にもとても負担が大きいです。（同様多数）
- ・手当は労働時間に見合わないから。
- ・土日は家庭に時間を使いたいため。（同様多数）
- ・休日はしっかりと休み平日は学習指導等に専念したいから。
- ・学校の教員という立場であったとしても、少年団などの指導者として、報酬も貰わずに活動できています。その点では十分にクラブ化できています。兼職・兼業にしてまで学校の教員という立場で指導しても、指導効果は低いと思います。教員は仕事として、時代の変化に対応し、より児童生徒に向き合う指導の為に研修や時間をかけています。部活の指導なら休日に個人的に研修されるのが一番と考えています。兼職兼業は働き方改革になっておらず、かえって逆行していると思います。
- ・働き方改革にならないから。教員をあてにするのは、間違っていると思う。教員は異動があるわけだから、教員のあてにしない準備をしてほしい。

※取手市の中学校の教員数 165名 × 24.1% = 39.8人

※中学校の校長先生方は、これから人事のことなど先生方ともいろいろ面談をしていく時期になります。スポーツ振興課としても校長先生方とのヒアリングを行い、来年度のモデル事業や地域クラブ活動の指導者等についてご意見を伺うようにしていきます。

令和6年度 モデル事業の進捗状況について



取手ブレイブベースボールクラブ（取手一中、藤代中、藤代南中の生徒が参加）と**永山軟式野球クラブ**（永山中の生徒が参加、戸頭中の生徒も参加可）の皆さんです。夏の総合体育大会では、そろって市郡大会、県南大会と勝ち進み、茨城県選抜軟式野球大会にも出場しました。

藤代南バレーボールクラブの皆さんです。藤代南中を拠点校として、藤代中の生徒も参加しています。総合体育大会では、地域クラブとして市郡大会に出場しました。



令和6年度 モデル事業の進捗状況について

17



取手二中剣道クラブの皆さんです。

取手二中を拠点校として、永山中の生徒も参加しています。

夏の総合体育大会では、市郡大会、県南大会と勝ち進み、男子団体では、県大会まで出場しました。

藤代剣道クラブの皆さんです。

藤代中と藤代南中の生徒が参加しています。

総合体育大会では、男女そろって県南大会まで勝ち進みました。



令和6年度 モデル事業の進捗状況について

18



取手市柔道クラブの皆さんです。

取手一中と藤代中を拠点校として、取手市全域からクラブ員を募集しています。

新人大会から、合同での活動を始めています。市郡大会、県南大会と勝ち進み、県大会まで出場しました。

取手二中空手道クラブの皆さんです。

取手二中を拠点校として、取手市全域からクラブ員を募集しています。

各大会では、好成績を収め、関東大会、全国大会にも出場しました。

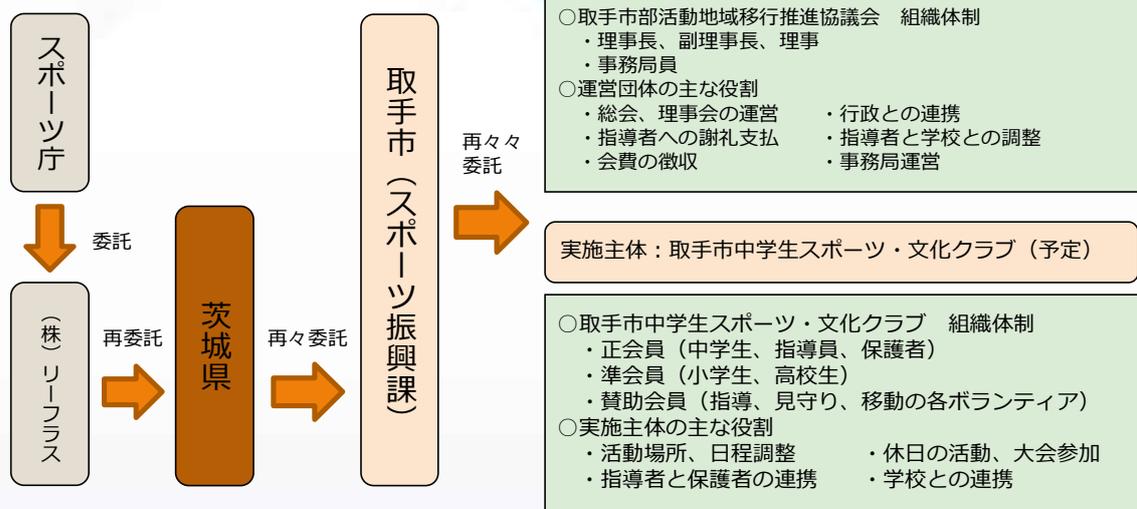


地域クラブ活動の運営団体・実施主体について

令和6年度 土浦市と取手市の運営状況の比較

	中学校数	担当部署	運営団体	実施主体 (任意団体)	会員数	会費
土浦市	8校 123部	土浦市教育委員会 指導課	土浦市地域クラブ活動推進協会	土浦市地域クラブ 「ブルー・オーシャン」	6種目 21クラブ 740人	年会費 2,000円 月会費 2,000円 (予定)
取手市	6校 79部	取手市教育委員会 スポーツ振興課		取手市中学生スポーツ・文化クラブ (予定)	5種目 7クラブ 106人	検討中

【取手市の運営体制について (案)】



地域クラブ活動の歳出と歳入の状況について

歳出と歳入の状況について

単位：円

	歳出（総事業費）	歳入内訳		クラブ数（予定）
		県委託料	市補助	
令和5年度	2,142,000	1,496,150	646,000	2クラブ実施
令和6年度	7,953,000	4,071,000	3,882,000	7クラブ実施
令和7年度	15,712,000（推定）	7,011,000（推定）	8,701,000（推定）	15クラブ予定
令和8年度	23,230,000（推定）	未定	未定	21クラブ予定

令和6年度の今後の予定について

○11月・12月に、スポーツ振興課で各中学校を訪問し、学校長からヒアリングを行ながら、令和7年度に地域クラブ活動として活動する部活動を決定する。

○1月末から2月初めに各中学校で行われる新入生説明会で、小学6年生と保護者に対して、令和7年度の地域クラブ活動について説明する。同時に地域クラブ活動通信を作成し、全小中学校の保護者・教職員に配付する。

○2月14日（金）14：00～ 第3回取手市部活動地域移行推進協議会を開催予定。

○3月に、今年度のモデル事業地域クラブ活動の生徒、保護者、指導者に対し、アンケート調査を行う予定。

○また、動画配信やオンライン説明会の開催を予定しています。

茨城県教育庁学校教育部保健体育課から

23